

[令和6年度事務事業]

I. 基本情報										
事業の位置付け										
1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現			
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4		
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			さかい健康プラン						
3	事業開始年度			平成 6 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠			健康増進法、堺市骨粗しょう症予防検診事業の実施に関する要綱						
事業の概要										
5	事業の実施主体			本庁、各区						
6	事業の対象			18歳以上の堺市民				対象数	単位	
								695,163	人	
7	事業の目的			骨密度が低下すると、軽微な転倒等でも骨折しやすくなり、要介護状態になる可能性が高まる。 骨密度は20歳前後を境に低下していくため、若い世代（18歳時）から現状の骨密度を把握し、必要な健康指導等を受けることにより、市民の健康の保持増進、介護予防につなげる。						
8	事業内容			・各保健センターにおいて2か月に1回程度の検診日を設定し、市民が申し込みを行い骨密度の測定を実施。 ・検診結果に応じて医師や保健師、管理栄養士が指導を行う。 ・自己負担金640円（市民税非課税世帯に属する方、生活保護を受給する方、中国残留邦人等に対する支援給付を受けている世帯に属する方は事前申請手続きにより無料）。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容									
9	主な支出先									
10	公民連携・協働事業									

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	受診者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	785	847		
			達成率	79%	85%		
当該指標を選定した理由	骨粗しょう症予防検診をより多くの方に実施することにより、骨折の原因となる骨粗しょう症を早期に発見し、治療につなげることで、骨折を予防できる。						
目標値の設定根拠・算出方法	令和元年度実績を基準とし、受診者数増加を目標とする。						
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	骨粗しょう症予防検診の実施回数	回	目標値	42	42	50	
			実績値	42	43		
			達成率	100%	102%		
当該指標を選定した理由	検診受診の機会を適切に確保するため。						
目標値の設定根拠・算出方法	令和7年度は測定機器の購入により、検診実施回数を増加させる。						

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	骨粗しょう症予防検診	事業番号	011-179
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,362	1,068	3,252	1,768	15,301
	国支出金	158	169	169	143	127
	財 府支出金	0	0	0		0
	源 市債	0	0	0		0
	内 其他（ ）	0	0	0		0
	記 受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	1,204	899	3,083	1,625	15,174
14	人件費（b）	2,960	2,950	2,930	4,550	4,800
15	年間経費（c）=（a）+（b）	4,322	4,018	6,182	6,318	20,101

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	決算				R6	決算		
16	報酬	R6	決算	0	0	備品購入費	R6	決算	0	0
		R7	予算	0	0		R7	予算	14,091	13,964
	消耗品費	R6	決算	340	340		R6	決算		
		R7	予算	344	344		R7	予算		
	印刷製本費	R6	決算	0	0		R6	決算		
		R7	予算	26	26		R7	予算		
	委託料	R6	決算	0	0		R6	決算		
		R7	予算	840	840		R7	予算		
	その他使用料及び賃借料	R6	決算	1,428	1,285		R6	決算		
		R7	予算	0	0		R7	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 受診者数	人	785	847
	② 上記①にかかる年間経費	千円	4,018	6,318
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	5,119	7,459
算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	受診者数は増加傾向にあり、市民の骨粗しょう症に対する関心が高まっていると考えられる。令和6年度は、各保健センターで所有していた測定機器の耐用年数超過への対応のため、測定機器を1台レンタルし、検診実施日に合わせて各会場へ運搬・使用する体制をとった。 この対応により、機器のレンタル料が新たに発生し、単位当たりの経費が増加した。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和6年度は前年度より受診者が増加しており、市民が自身の骨密度の現状を把握し、必要な指導や治療を受けられる環境を確保することで、「堺市基本計画2025」に掲げる「健康で長生きできる都市の実現」やさかい健康プランの「個人の行動と健康状態の改善」に寄与したと考える。 令和6年度に行ったレンタル機器1台の運用では、システムとの連携障害や印刷時のトラブル等により、検診の実施に支障をきたすおそれがあったことから、令和7年度は、各区に1台ずつ測定機器を新たに購入し、安定した検診体制を再構築する。また、増加する市民ニーズに対応するため、検診の実施回数を増加させる予定である。
----	--